

中学校第2学年 数学 調査票

() 組 () 番 氏名 ()

1 次の(1), (2)に答えなさい。

(1) -7.3より大きい負の整数を2つ書きなさい。

(2) a, b が負の整数のとき、計算の結果も必ず負の整数になる式を、下のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

$$\text{ア } a \div b \quad \text{イ } a - b \quad \text{ウ } a \times b \quad \text{エ } a + b$$

2 次の計算をしなさい。

(1) $-4 - (-8) \div (+2)$

(2) $5 \times (-3^2)$

3 次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 次の一元方程式を解きなさい。

$$\frac{3}{4}x = x - 2$$

(2) 次の連立方程式を解きなさい。

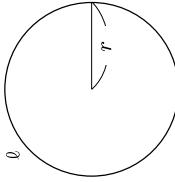
$$\begin{cases} y = 5x + 3 \\ y = 3x - 1 \end{cases}$$

4 次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 2種類の液体Aと液体Bを4:5の重さの比で混ぜます。液体B200gに対して、液体Aを何g混ぜるかを考えています。

① 液体Aの重さを $x\text{ g}$ として、比例式を書きなさい。

② 液体Aの重さを求めなさい。

(2) 下の図で、半径 $r\text{ cm}$ の円周の長さ ℓ は、次の式で表されます。(2) 右の図で、半径 $r\text{ cm}$ の円周の長さ ℓ は、次の式で表されます。

$$\ell = 2\pi r$$

半径を求めるために、 r について解きなさい。**5** 次の(1), (2)に答えなさい。

(1) みかん6個と2,500円のメロン1個を買ったときの代金は、同じ値段のみかん9個と250円のリンゴ1個買ったときの代金の4倍になります。

みかん1個の値段を $x\text{ 円}$ として、方程式をつくりなさい。ただし、消費税については考えないこととする。

(2) 弟が、2km離れた学校に向かって家を出発しました。それから15分たって、兄が同じ道を追いかけました。弟の歩く速さは毎分50m、兄の歩く速さは毎分100mであるすると、兄は出发してから何分後に弟に追いつくでしょうか。

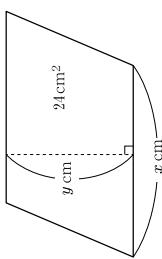
この問題を太郎さんは、兄が弟に追いつくまで x 分かかったとして、次の方程式をつくりました。

$$50(15+x) = 100x$$

太郎さんが考えた $50(15+x)$ は、どんな数量を表しているのか書きなさい。**中数-1****中数-2**

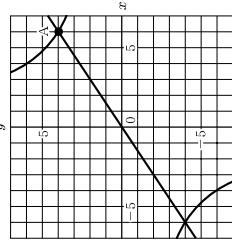
6 右の図のように、底辺が x cm、高さが y cmの平行四辺形があります。この平行四辺形の面積を 24cm^2 とすると、 x と y の間にほどんな関係がありますか。下のア～ウから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 比例の関係
 イ 反比例の関係
 ヴ 比例でも反比例でもない関係



8 右の図のように、比例と反比例のグラフが点Aで交わっています。
 次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 点Aの座標を書きなさい。
 (2) 比例のグラフの式を書きなさい。

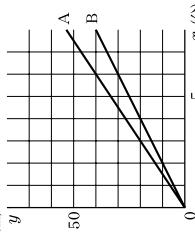


7 下のア～エの中で、 y が x に比例する関係を表したものと、その記号を書きなさい。

ア		...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
x	y	...	-8	-4	0	4	8	12	16	...
イ		...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
x	y	...	-2	-3	-6	\times	6	3	2	...
ウ		...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
x	y	...	-9	-6	-3	0	3	6	9	...
エ		...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
x	y	...	9	4	1	0	1	4	9	...

9 底面積が異なる2つの容器A、Bがあります。右のグラフは、その容器A、Bに同時に水を同じ割合で入れたときの時間 x 分と底面から水面までの高さ y cmの様子を表したものです。
 次の(1)、(2)に答えなさい。

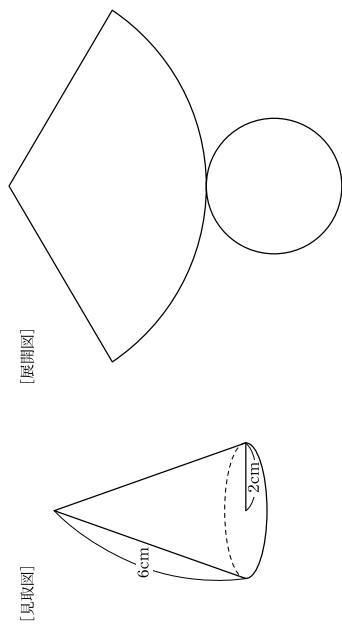
- (1) 水を入れ始めてから6分後の容器A、Bの底面から水面までの高さの差を求めなさい。
 (2) 容器A、Bの底面から水面までの高さの差が60cmになるのは、36分後です。その求め方を説明しなさい。



中数-3

中数-4

10 下の図は、底面の半径が 2 cm 、母線が 6 cm の円錐の見取図とその展開図です。この円錐の側面積を求める式と、側面積を答えなさい。ただし、円周率は π とします。

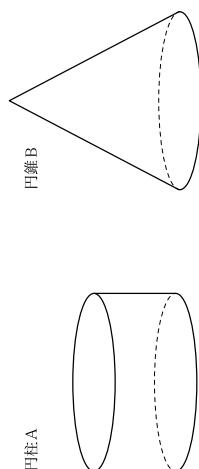


[見取図]

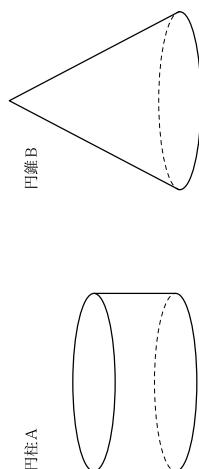
[展開図]

11 下の図のように、底面が等しい円柱Aと円錐Bがあります。円錐Bの高さは円柱Aの高さの2倍です。この2つの立体の体積を比べると、どのようになりますか。下のア～ウから正しいものを一つ選んで、その記号と選んだ理由を書きなさい。

円柱A



円錐B



- ア 圓柱Aの体積のほうが大きい。
- イ 圓錐Bの体積のほうが大きい。
- ウ 圓柱Aと圓錐Bの体積は等しい。

12 図1のように、基石を正三角形状に並べます。三角形の1辺に並べる基石の個数が n 個のとき、基石全部の個数を求める式をつくろうと思います。

太郎さんは、この問題を図2のように考えました。

図2のような眺み方をすると、基石全部の個数は、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができます。その理由は、次のように説明できます。

【説明】

正三角形の1辺の端には n 個から両端の2個を引いたものなので、 $(n-2)$ 個になる。同じまとまりが3つあるので、このまとまりで数えた基石の個数は $3(n-2)$ 個になる。さらに3つの頂点の基石を加えると基石全部の個数になる。

したがって、基石全部の個数を求める式は、

$$3(n-2)+3$$

になる。

(1) 花子さんは、この問題を図3のように眺み方を考えて、全部の個数を、 $3(n-4)+3\times 3$ という式に表しました。その理由は、次のように説明できます。

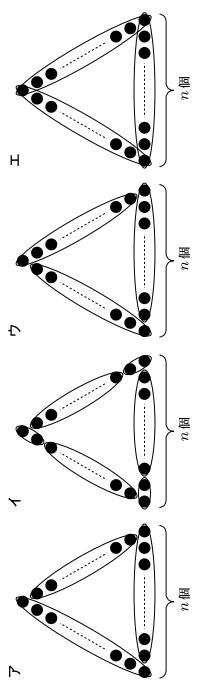
【説明】

したがって、基石全部の個数を求める式は、 $3(n-4)+3\times 3$ になる。

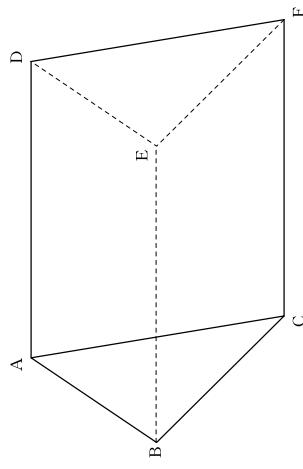
中数-5

中数-6

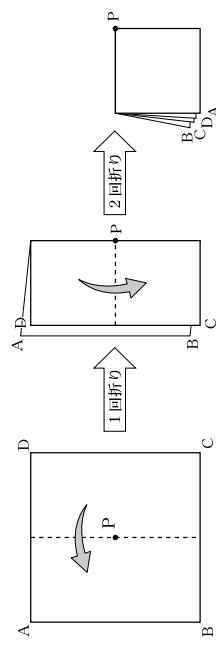
(2) 次郎さんは図1で、碁石全體の個数を、 $3(n-1)$ という式で考えました。その考え方がある分かる図み方を、下のア～エから1つ選んで、その記号を書きなさい。



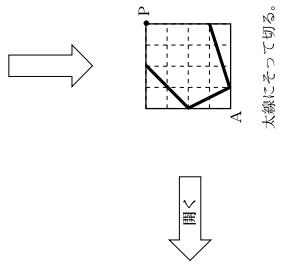
[13] 下の図のような三角柱があります。面ABCに垂直な辺をすべて書きなさい。



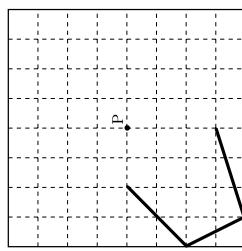
[14] 正方形の紙を、下の図のように2回折り、太線にそって切りました。この紙を開いたときにできる图形を書きなさい。



頂点Aと頂点D、
頂点Bと頂点Cを
ピッタリと重ねる。



太線にそって切る。

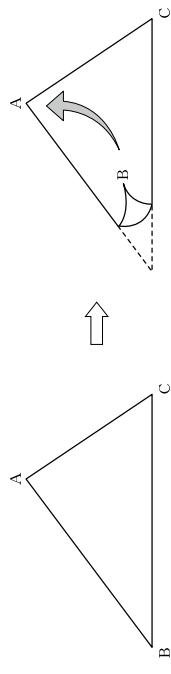


頂点Aと頂点D、
頂点Bと頂点Cを
ピッタリと重ねる。

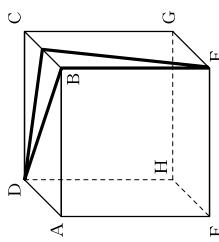
中数-7

中数-8

[15] 下の図の△ABCにおいて、頂点Bを頂点Aに重なるように折ったときにできる折り目の線を作図しなさい。ただし、作図に使った線は消さずに残しておきなさい。



[16] 右の図は立方体の見取り図です。図のように頂点Dから頂点Fまで、たどるまいようにひもをかけます。このとき、辺BCの中点を通る場合と頂点Bを通る場合の長さについて、下のア～エから正しいものを1つ選んで、その記号を書きなさい。



ア 辺BCの中点を通る場合の方が短い。

イ 頂点Bを通る場合の方が短い。

ウ 辺BCの中点を通る場合と頂点Bを通る場合の長さは等しい。

エ どちらが短いかは、この問題に示された条件だけでは決まらない。

中数-9

[17] 花子さんの学校では、図書室の本を貸し出しています。図書委員の花子さんは、クラスの一人一人が4～7月までに借りた本の冊数を調べました。下の表1は、クラス30人がそれぞれ借りた本の冊数を多い順に左上から並べたものです。

これをもとに、次の(1)、(2)に答えなさい。

表1

(一番多い)→	4.4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7
0以上～10未満	2							
1.0～2.0	4							
2.0～3.0	6							

(1) 下の表2は、表1を度数分布表に整理したものです。このクラスの最頻値(モード)を求めなさい。

表2

借りた本の冊数(冊)	度数(人)
0以上～10未満	2
1.0～2.0	4
2.0～3.0	6
3.0～4.0	13
4.0～5.0	5
合計	30

(2) 花子さんが「クラス30人が借りた本の冊数の平均値は29冊でした。」と発表すると、他の生徒の借りた冊数を知らない太郎さんは、次のように言いました。

【太郎さんの考え方】

ぼくの借りた冊数は3冊だから、平均値よりも上回っている。
ということは、クラスの中では、たくさん借りた方がから教えて15人以内だよね。

それに対して、太郎さんの考えは正しくないことに気付いた花子さんは、平均値と中央値(メジアン)という2つの語を用いて、太郎さんに説明しました。

【花子さんの説明】

したがって、太郎さんの考えは正しくありません。

中数-10